

# 性別の隙間にて生きる 第3回 5月10日(木)



『男であれず、女になれない』  
著者

鈴木信平

## プロフィール

1978年4月24日、愛知県生まれ。会社員。  
2002年に立正大学社会福祉学部卒業後、俳優養成所レッスン生、  
広告代理店、コールセンター勤務などを経て、現在、株式会社ブック  
リスタ勤務。  
高校在学中の17才頃から自身の性別に疑問を覚え、  
大学卒業後、23才を迎える頃には性の不一致を自覚。同性愛、性同  
一性障害など、既存のセクシャルマイノリティへ自らの居場所を求め  
るも適応には至らなかった。  
ホルモン摂取、豊胸、造陰などいずれの女性化を求めることなく、  
2015年3月、36才にて男性器を摘出する。

## 担当者から

鈴木さんは自分の性がわからないと悩んだ末、性で自分を自分  
たらしめることを手放し、「自分は自分」というアイデンティ  
ティを確立されました。今回は鈴木さんの、性という“境”に  
悩み、乗り越え、境にとらわれない「自分」を手に入れた経験  
を伺いたいと思います。

自分が描く「あるべき姿」と「自分らしさ」の境で揺れ動く私  
たち大学生が、鈴木様のご経験を伺うことで、新たな価値観や  
とらえ方について考えられる時間にしたいと思います。